



長崎県立大学 UNIVERSITY OF NAGASAKI

研究の成果を地域へ還元

長崎県立大学では、研究の成果を学校教育現場や企業研修、地域活動に役立ててもらおう学外講座を積極的に行っています。今回は、「英語教育」「情報セキュリティ」

の各講座をピックアップ。実際に行われた講座の様子や、担当教授のインタビューを通じて、地域に根差した取り組みを紹介します。

企画・制作/長崎新聞社クロスメディア編集部

英語教育 × 異文化コミュニケーション



県立佐世保商業高校で5月、国際コミュニケーション3年の生徒40人を対象に「異文化理解」と「発音」に焦点を当てた公開講座が開かれました。

高校で出前講座

公共政策学科の山崎祐一教授は冒頭で、現プロ野球監督の新庄剛志氏がメジャーリーガー時代にホームランを打った時に誇らしげにハットを投げてタイムアウトを周したというエピソードを語り、「試合後の現地メディアに非難された」といふエピソードを紹介し、「どんなに野球の技術が優れていても、記者に寄り添い、喜びの感情を出し過ぎないというメジャーリーガーの暗黙のルールを理

解していかないと、円滑なコミュニケーションは実現しない」と解説。言語の習得だけではなく、文化背景を理解することの大切さを話しました。

企業経営者向けセミナー

経営者に役立つIT関連に関する相談の照会先や、情報セキュリティに特化した専門家の育成が必要なることを紹介。情報セキュリティの知識は専門家だけのものではなく、全てのインターネットユーザーにとって不可欠なものだということも、分かりやすく説明しました。

情報セキュリティ



写真:長崎優良申告法人会提供



山崎祐一氏

佐世保市出身。サンフランシスコ州立大学大学院英語学研究所(英語教育学専攻)修了。米大学での講師などを経て2005年4月から現職。長崎県英語教育推進協議会委員などを務める。近著は「ネイティブならこう言う!」2コマでわかる日常英会話」。趣味はスポーツ観戦とギター演奏。

異文化理解を視野に入れた英語教育の研究をしています。真のコミュニケーション能力には、言葉の知識・技能(スキルセット)だけでなく異文化理解(マインドセット)が不可欠です。地域の英語学習者と連携・共働しながら、英語を学ぶ上での異文化知識の必要性を追求・検証しています。

小学校、中学校、高校で、児童・生徒向けに英語や異文化に関する講座を行っています。また、小学校の先生向けに、英語教育に関する現場のニーズを反映させた講座研修を実施しています。他には、自治体の依頼で市民向けの公開講座も行っています。

受講生の年齢や背景に応じて、専門用語を分かりやすい言葉にかみ砕いて説明したり、身近な話題を取り上げたりという工夫をしています。また、話の内容をイメージしやすくするために、できるだけ写真や実物を提示するようにしています。

大学が研究成果を内部にとどめるだけでなく、地域貢献として地域や学校、企業に還元することは、大きな任務の一つだと考えています。地域をフィールドとした研究から得られた知見は、学校や企業を通して循環し、地域の活性化につながると思います。

外国語を学ぶことは新しい視点を得ることです。未来を担う子どもたちをはじめ、地域の皆さんに英語や異文化についてもっと親しみをもってもらいたいです。英語を使って世界の人と円滑にコミュニケーションをとることは、相互理解の深まりを通して、ひいては世界平和にもつながるのではないかと、私は信じています。

- Q1 主にどんな研究をしていますか?
- Q2 どのところで講座をしていますか?
- Q3 講座で工夫していることは?
- Q4 研究が地域や学校、企業などでどのように生かされているのでしょうか?
- Q5 講座で目指しているものは?

インターネットが正常に動き続けることができるように、その基盤になるシステムのセキュリティを研究しています。公開されているIPアドレス(インターネット上の電話番号のようなもの)を観測したり、適切に管理されている状況を調査したりしています。

これまで小学生向けのプログラミング講座や、高校生向けのインターネット応用講座を行ってきました。他にも高校の先生向けに「情報セキュリティ教員養成研修」、企業経営者向けに「情報セキュリティ講座」など、基本から応用まで幅広い内容の講座を開講しています。

講座の内容が話を聞いてくれた人たちに伝わるように、身近なできごとや問題を例として取り上げるようにしています。例えば実際にフィッシングサイトの画面を示しながら、その実例や巻き込まれそうになった時の心構えを含めた対処法を具体的に教えています。

講座を通して一人一人が学ばれた情報セキュリティに関する知識を所属する会社などで広げてもらえたら、それが積み重ねとなり、インターネット社会の安定にも寄与できるのではないかと考えています。

インターネットや情報セキュリティに興味を持つ人材を増やしていくことだと思います。実際私が大学で受け持つ学生から、情報分野に興味を持ったきっかけが高校時代に受けた私の講座だったという話を聞きました。今後は進路指導をされる先生方にもよりアピールしていきたいです。



岡田雅之氏

千葉県出身。筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻(修士・博士(工学))、日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC)技術部勤務などを経て、2020年4月から現職。東京大学理学部非常勤講師を兼務。趣味は友人とビールを飲みながら話をすることや、漫画本を読むこと。

公開講座等の概要はこちら

長崎県立大学地域連携センターでは、生涯学習支援の一環として公開講座・地域公開講座を企画、実施しています。講座の詳細やお問い合わせはこちらのQRコードから。



県立大ニュース 学部・学科再編後の三期生 最新就職情報!!

<p>長崎県立大学 UNIVERSITY OF NAGASAKI</p> <p>佐世保校 長崎県佐世保市川下町123 TEL.0956-47-2191</p> <p>シーボルト校 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1 TEL.095-813-5500</p>	<p>経営学部</p> <p>就職実績</p> <p>オリックス生命保険、マツハヤ・コーポレーション、アルペン、一条工務店、近鉄不動産、竹中土木、長谷エアベスト、良品計画</p>	<p>国際経営学部</p> <p>就職実績</p> <p>イオン九州、EY税理士法人、カチタス、シャノン、センコー、ソーダニッカ、大英産業、中広、日本通運、日立物流、三菱倉庫</p>	<p>地域創造学部</p> <p>就職実績</p> <p>西日本鉄道、マイナビ、三井ホーム、宮崎日日新聞、九州経済産業局、九州農政局、国土交通省九州地方整備局、長崎県、長崎県警察</p>	<p>公共政策学科</p> <p>就職実績</p> <p>扇精光ソリューションズ、エン・ジャパン、岡三証券、オービックビジネスコンサルタント、ケイアイスター不動産、はるやま商事</p>	<p>実践経済学部</p> <p>就職実績</p> <p>サンハイツ、ポピンズ、ウエルフェア九州病院、エバーライフ、キューサイ、ギフト、ブロンコビリー、えがお、LEOC、琉球大学病院</p>
<p>国際社会学部</p> <p>就職実績</p> <p>チューリッヒ保険会社、長崎空港ビルディング、メットライフ生命保険、明治安田生命保険、山九、日本貨物航空、楽天カード、東横イン</p>	<p>情報システム学部</p> <p>就職実績</p> <p>日本ビジネスソフト、ニーズウェル、京セラコミュニケーションシステム、サクサ、九州日立システムズ、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング</p>	<p>情報セキュリティ学部</p> <p>就職実績</p> <p>NBC情報システム、インターネットイニシアティブ、TDK、ラック、パイロール、富士フィルムソフトウェア、デンソーテン、住友電装</p>	<p>看護栄養学部</p> <p>就職実績</p> <p>長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、東京大学病院、九州中央病院、自治医科大学附属病院、佐賀大学医学部附属病院</p>	<p>看護学部</p> <p>就職実績</p> <p>長崎大学病院、長崎みなとメディカルセンター、東京大学病院、九州中央病院、自治医科大学附属病院、佐賀大学医学部附属病院</p>	<p>栄養健康学部</p> <p>就職実績</p> <p>サンハイツ、ポピンズ、ウエルフェア九州病院、エバーライフ、キューサイ、ギフト、ブロンコビリー、えがお、LEOC、琉球大学病院</p>

就活も強い県立大! 学部・学科再編によって、より実践的な学びを修了した学生達は、就職活動において多くの企業から高い評価を得ています。